

## 企画セッション

### ◆ 営業秘密を保護する中核人材はいかにして育てるべきか ◆

#### 【講演者】

#### ■ パネルディスカッション

<パネリスト>

- |        |   |
|--------|---|
| 橋本 正洋氏 | 東京工業大学環境・社会理工学院 教授、日本知財学会 副会長                           |
| 坂入 実氏  | 株式会社日立製作所研究開発グループ基礎研究センター<br>チーフサイエンティスト、理学博士/日本化学会フェロー |
| 松本 慶氏  | 弁護士 ベーカー&マッケンジー法律事務所 パートナー                              |
| 船田 尚氏  | 営業秘密保護推進研究会 アドバイザー<br>(元 株式会社ユービーセキュア 社長)               |

<モデレータ、コメンテータ>

- |        |                  |
|--------|------------------|
| 三笠 武則氏 | 営業秘密保護推進研究会 事務局長 |
|--------|------------------|

#### ■ 進行

各パネリストがポジショントークを行った上で、パネリスト全員によるパネルディスカッションを実施する。

#### 【内容】

営業秘密保護において、営業秘密の価値を見通して事業リスクに係る経営判断を引き出し、経営層の意を汲んで、研究開発/製造、法務・知財、労務、情報セキュリティ等の実務層を統括する「橋渡し人材」の育成が求められている。営業秘密保護推進研究会では、5月に当該テーマのシンポジウムを開催し、事業/研究開発の責任を担う現場の長（大企業であれば事業部長クラス、ベンチャー企業であれば経営者クラス）を歴任した上級管理職経験者の活用が重要との感触を得ている。

この結果を受けて、本セッションでは、「営業秘密保護における橋渡し人材」として上級管理職経験者を育成・登用するために求められる手法や環境整備のあり方について議論する。具体的には、以下の4つの論点を設定し、ディスカッションを行う。

- ①研究開発/製造部門は、営業秘密保護に関し、経営層の方針をどの程度意識しているか？
- ②育成すべき上級管理職経験者の要件・スキルの明確化。どのような素養を既に持つ人材を対象として育成すべきか？
- ③キャリアアップ講座（例：東工大のMOT）の手法を、上級管理職経験者の育成に如何に活かせるか？
- ④育成した人材のキャリアパスや企業への供給をどのように考えるべきか？

以上

## 企画セッション

### ◆ 営業秘密を保護する中核人材はいかにして育てるべきか ◆

#### 【略歴】

◇ 橋本 正洋氏 東京工業大学環境・社会理工学院 教授、日本知財学会 副会長  
1980年東京工業大学工学部卒業、1982年同大学院修了。2008年東京大学大学院工学系研究科後期博士課程修了、博士(工学)。1982年通商産業省(現経済産業省)入省、1997年大学等連携推進室長にてTLO法制定、2002年大学連携推進課長にて大学発ベンチャー千社計画、MOT 1万人計画の推進などを経て2006年NEDO企画調整部長、2009年特許庁審査業務部長。2012年早稲田大学理工学術院教授、2014年経済産業省退官。2014年現職に公募採用。専門はイノベーション政策、知財戦略、技術経営。

◇ 坂入 実氏 株式会社日立製作所研究開発グループ基礎研究センタ  
チーフサイエンティスト、理学博士/日本化学会フェロー  
日立製作所にて、高感度センシング技術の研究開発に従事。研究対象は、がん等の体外診断(尿中代謝物)、環境計測(PCB処理施設用モニタ)から、フィジカルセキュリティ(爆発物探知、不正薬物)など多岐に渡り、多くの製品の実用化に成功した。現在、株式会社日立製作所基礎研究センタのチーフサイエンティストとして、最先端研究に従事。

◇ 松本 慶氏 弁護士 ベーカー&マッケンジー法律事務所 パートナー  
営業秘密に係る使用差止、損害賠償請求に関して、日本の裁判所における訴訟活動の経験が豊富であり、米国の営業秘密関連訴訟にも経験を有す。営業秘密(技術情報、ノウハウ等)に係るライセンス契約その他紛争案件以外の案件も数多く手掛けている。

◇ 船田 尚氏 営業秘密保護推進研究会 アドバイザー  
(元 株式会社ユービーセキュア 社長)  
大手メーカー半導体事業部門の経理、パソコン通信会社・インターネット機器販売会社によるマーケティングを経て、1998年にインターネットセキュリティ事業に出会い、情報セキュリティ製品及びサービスの企画・営業業務に携わる。以後、三菱電機情報ネットワーク、三井物産、三井物産セキュアディレクションとサイバーセキュリティ事業会社に在籍し、不正アクセス監視・脆弱性診断関連事業に従事。2007年サイバーセキュリティ専門会社株式会社ユービーセキュアを設立。2017年、設立10周年を迎え同年6月末に同社を引退。現在は20年に亘る業界及び10年に亘る経営者としての経験・知見・人脈を元に情報セキュリティアドバイザー及び最高情報セキュリティ責任者(CISO)の補佐役として支援業務に従事。

◇ 三笠 武則氏 営業秘密保護推進研究会 事務局長  
ITサービスの情報セキュリティ対策や利用者の権利保護に係る国・民間のガイドライン策定に多数従事。現在、株式会社NTTデータ経営研究所エグゼクティブスペシャリスト。営業秘密保護推進研究会(<http://www.apptaras.org/>)の設立に参加し、事務局長に就任。

以上